

- 47 物色留仍舊 ●●○○○●
 48 人居就不悛 ○○○●●◎

※脚韻は下平声「先」韻。韻字は「塵・編・拳・悛」である。

*大系本では、「薛」とあるが、ここでは刊本にある「薛」を採る。

訓読

- 41 荒涼として多く道を失ふ
 42 廣袤塵に盈つること少し
 43 井壅がつて沙を堆くして甃む
 44 籬疎にして竹を割りて編む
 45 陳根の葵一畝
 46 斑藪の石孤拳
 47 物色留つて舊に仍る
 48 人居 就いて悛らず

口語訳

- 41 (官舎の周囲は人気も無く)荒れはてて、官舎に至る道も迷つて見失うありさまだし、
 42 (官舎の)敷地は、一畝半に少し足りないくらい狭さだ。